

麴甘酒を毎日続けて飲むと 肌の保湿に効果あることが確認できました

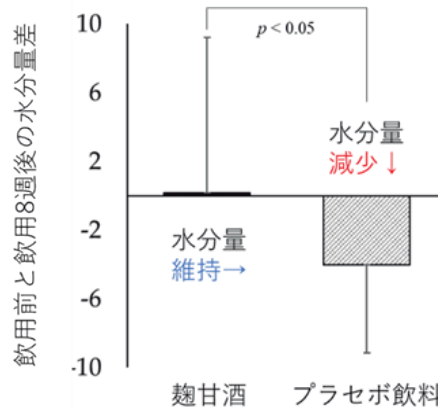


これから肌の乾燥が気になる季節がやってきます。こうした空気が乾燥する冬の時期に麴甘酒を飲み続けると肌の保湿が保たれることが、今回、八海醸造の研究で明らかになりました。

八海醸造株式会社（代表取締役：南雲二郎、本社：新潟県南魚沼市、以下弊社）では、日頃から、お客様からお寄せいただいた麴甘酒の健康効果の検証を進めています。これまでに麴甘酒を飲み続けることで便通改善効果がみられることなどを明らかにしてきました。今回は、そんな便通改善効果と並んでお客様から実感としてお寄せいただくことが多い「肌への効果」について、ヒト臨床試験を実施し、検証しました。

今回の研究は、2020年1月から2月にかけて関東エリアで実施しました。乾燥肌を実感されている健常成人を無作為に30名ずつ2群に分け、弊社の麴甘酒製品「麴だけでつくったあまさけ」(118g)と、米を原料とした「プラセボ飲料」(118g)を、それぞれどちらを飲んでいるか分からない状態で8週間の間、毎日飲み続けてもらいました。2種類の大きな違いは【麴菌や麴の成分が含まれているかないか】というものです。その結果、図1で示したように、プラセボ飲料の飲用群では、冬季の乾燥した環境で顔の頬肌の水分が失われたのに対し、麴甘酒を飲用した群では顔の頬肌の水分量が維持されたことが判りました。

図1. 麴甘酒の飲用で肌水分量が維持される



これまでの肌保湿に関する様々な報告から、私たちは麴甘酒に含まれる「グルコシルセラミド」が機能性関与成分であると推定して研究をすすめてきました。今回の研究で使用した麴甘酒とプラセボ飲料に含まれるグルコシルセラミドの量は、118g あたりそれぞれ 1.35 mgと 0.3 mgで、麴甘酒の方が多く含まれています。弊社ではこれまでに、麴甘酒には麴菌由来の 2 種のグルコシルセラミドと米由来の 6 種類のグルコシルセラミドの合計 8 種類のグルコシルセラミドが含まれていることを明らかにしています(図 2)。このうち、米由来のグルコシルセラミドは今回使用した麴甘酒とプラセボ飲料の両方に含まれていますが、麴菌由来の 2 種のグルコシルセラミドは、麴甘酒にしか含まれていません。国内では、コメやコンニャク、パイナップル由来のグルコシルセラミドを機能性関与成分とし、1 日あたりの摂取量 1.2 ~ 1.8 mgで肌のバリア機能(保湿力)が高まり、肌の潤い(水分)を逃がしにくくするなどの効果で、機能性表示食品として届け出がされています。今回の弊社の研究から、麴由来のグルコシルセラミドにも、肌の保湿効果があることが明らかになりました。

この研究内容は 2022 年 6 月 20 日に、肌の専門学術誌である「Clinical, Cosmetic and Investigational Dermatology」に、論文『*Koji amazake Maintains Water Content in the Left Cheek Skin of Healthy Adults: A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Parallel-Group, Comparative Trial* (麴甘酒は健康成人の左頬水分を維持する: ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間試験) (<https://doi.org/10.2147/CCID.S366979>)』として受理されました。本論文では、麴甘酒中に含まれる麴菌由来のグルコシルセラミドが、頬肌の水分維持に役立つことを報告しました。

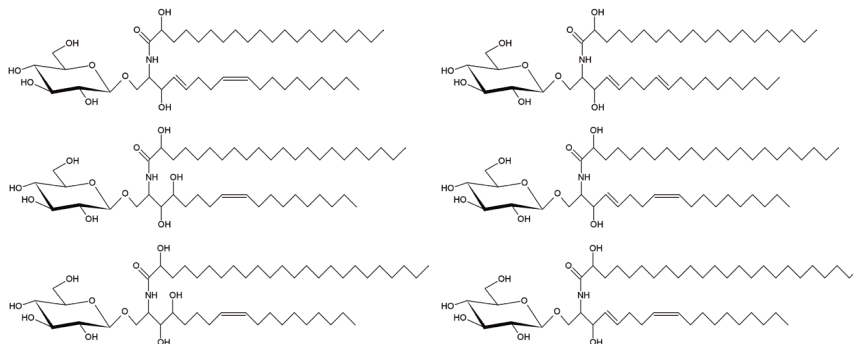
弊社は麴甘酒のリーディングカンパニーとして、これまでも過剰摂取や長期摂取試験などで安全性を評価し、抗疲労や便秘改善効果などの機能性を評価してきました。今回、肌保湿に関する効果を学術的に評価しましたが、現在もさらに多くの機能性研究を進めており、今後もひきつづき麴甘酒の効果と魅力を深堀し、明らかにしてまいります。

図2. 麹甘酒に含まれるグルコシルセラミド

○ 麹菌由来 (2種)



○ 米由来 (6種)



このリリースに関する報道機関からの問い合わせ先

株式会社八海山 広報担当：浜崎 東京都中央区築地 4-5-9 築地安田第二ビル 3 階
Email : press@hakkaisan.co.jp 電話 03 - 6264 - 3366